



令和6年度 綾歌・坂出地区中学校総合体育大会 結果速報!

7月6日(土)、7日(日)に、多くの競技で地区総体が行われました。今年の6月は雨が多く、例年に比べて気温も高くならなかったため、7月第1週の急激な気温上昇に、各部活動の子どもたちもコンディショニングに苦労している様子がうかがえました。それでも、今大会中は、大きな事故や体調不調の報告もなく、多くの部が無事、地区総体を終えることができました。県大会に駒を進めた部、残念ながら3年生が引退することとなった部等、悲喜こもごもですが、これまでの子どもたちの奮闘ぶりに改めて拍手を送りたいと思います。また、この週末に初陣を控えるバドミントン部、再来週以降に県大会・コンクール等を迎える各部にエールを送ります。



さて、私はこの2日間ソフトテニス競技(男子)の会場で大会運営に携わりましたが、印象に残った風景(言葉)があったのでこの紙面を借りて紹介します。

ソフトテニス競技は、セルフジャッジ(生徒の相互審判)で試合が行われ、それぞれの試合終了後には、勝者が審判から受け取ったジャッジペーパー(試合の記録)を大会本部に持参し、結果を選手自ら報告することになっています。満面の笑みの選手、はにかみながら結果を報告する選手、早くも次の試合への意気込みが感じられる選手等、様々な表情が見られました。

そんな中、自分たちが試合で負けたことを、各学校の顧問の教員にわざわざ報告に行く生徒も少なからず見られました。その中で数名の選手(他校生)がこんな話をしていました。それは、
「悔しいです、勝っていた試合でした」
「試合中、もっと〇〇をすればよかったです」
「最後の大会、県大会に行きたかったです」などの、自分のプレー等を悔いる話(後悔)です。



私は子どもたちに、「『失敗』という字は『成長(せいちょう)』と読む、失敗は必ず成長の糧となる」という話をしてしています。失敗をすることは、今後の学校生活や人生において必ずプラスに働くものだと思います。その一方で、「後悔先に立たず」という諺があるとおり、その一瞬一瞬に全力を尽くし、部活動、学習、受験等には、結果はともかく、後悔しない取組を大切にしてほしいという願いももっています。

今後、「県大会」を迎えたり、部活動を引退して「受験」に向かったり、「新チーム」をスタートさせたりしていく子どもたちですが、振り返れば「充実した県大会だった」「充実した受験勉強だった」「チームの力が充実したいいチームだった」などと自信をもって言い切れる、後悔のない、全力での取組に期待したいと思います。

R6 綾歌・坂出地区中学校総合体育大会 結果速報 (※団体戦のみ)

部活動名	結果	部活動名	結果
野球	準決勝惜敗		
剣道 男子	第3位 ☆	剣道 女子	準優勝 ☆
ソフトテニス 男子	優勝 ☆	ソフトテニス 女子	準優勝 ☆
バスケットボール男子	優勝 ☆	バスケットボール女子	リーグ戦惜敗
サッカー	優勝 ☆	柔道	第3位 ☆
バレーボール 男子	優勝 ☆	バレーボール 女子	優勝 ☆
卓球 男子	リーグ戦惜敗	卓球 女子	リーグ戦惜敗
バドミントン 男子	7/13・14	バドミントン 女子	7/13・14

☆は県大会出場